

令和4年度 第2回中なかいいネ！推進会議 議事録	
日 時	令和4年9月26日（月）10時00分～12時00分
開催場所	中区役所本館7階701・702・703・704会議室
出席者	川上委員長、杉野委員、芦原委員、藤平委員、松澤委員、鈴木（敏）委員、小島委員、丹羽委員、守屋委員、鈴木（聖）委員、蕭委員、長尾委員、金子委員、木村委員、緒方委員、渡邊委員、大西委員（代理：本間氏）、内藤委員、森田委員、越川委員
欠席者	井上委員、梅田委員、依田委員、鶴島委員、秋山委員、高橋委員、今野委員、梁田委員、清水委員、辺見委員
開催形態	公開（傍聴者0人）
議 題	<p>1 外国人との共生について ～地域と外国人住民とのつながりづくり～</p> <p>2 外国人も共に地域交流を進めるために ～地域における外国人住民との今とこれからについて～</p>
議 事	<p>1 外国人との共生について 議事1について、講師のなか国際交流ラウンジの林氏から資料(1)を用いて講義。</p> <p>2 外国人も共に地域交流を進めるために 議事2について、グループワークを実施。 テーマ：議事1の講義の感想や、自分の地域で一緒に活動していくためにできること（地域で取り組んでいることや今後取り組みそうなことなど）</p> <p>グループA：藤平委員、丹羽委員、蕭委員、木村委員 グループB：杉野委員、金子委員、内藤委員 グループC：松澤委員、鈴木（聖）委員、長尾委員、森田委員 グループD：鈴木（敏）委員、小島委員、緒方委員、渡邊委員 グループE：芦原委員、守屋委員、本間委員</p> <p>各グループでの意見について発表後、川上委員長による全体のまとめ。</p> <p><各グループからの発表（抜粋）></p> <p>A・外国籍の人にどう地域に入ってもらえるかが難しい。 ・日本のことや概念を理解してもらった必要性もあるのではないかな。</p> <p>B・食など興味でつながる活動に外国籍の方にも参加してもらったのも有効。 ・外国籍の人が地域活動に参加することで、国際交流にもつながる。 ・地域のパトロール・イベントを通して声をかけている。 ・地域活動の担い手がなかなかいないのも現状であり、なか国際交流ラウンジの方とも一緒に活動していきたい。</p> <p>C・多言語でチラシを作成することで、外国籍の方にとって「参加していいん</p>

	<p>だ」というメッセージになることを知ることができてよかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化や考え方の違いもあるが、きめ細やかな関わりも大切だと感じた。 ・「みんな同じ人間である」という認識も大切。 ・外国籍の人と日本人との間に入ってくれる人がいると、壁を乗り越えられるのではないか。 ・外国籍の方の呼び込みの難しさもあり学校とも協力しながら行う。 <p>D・学校の中では差別は特にないが、保護者に「概念」などを伝えるのは難しい。子どもから保護者へのアプローチなどの工夫をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会町内会の役員をしている外国籍（中国籍）の方もいる。 ・地道に取り組むことも必要か。 <p>E・外国籍の方にとっての「入口」をつくること＝組織やグループにつなげることも大事なのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区の中でもエリアによって外国籍の方の人数が異なることを知ることができた。そういった中でも地域の中での小さな交流も大切という話になった。 <p><全体のまとめ></p> <p>交流が活発な地区がある一方、まだそれほどではない地区もある。情報提供をして、包含的な地域づくりを進めていただきたい。その際、なか国際交流ラウンジを活用していただきたい。</p> <p>また、災害対策救護法が改正され、高齢者・障害者等の要援護者について個別避難計画を作ることになっているが、災害が起こったときに、どこにどう逃げればいいのか、どう判断すればいいのか分からない人、あるいは自力で逃げられない人の中に外国人も入ってくると思われる。地域防災の取組を進める中で、外国人の方々のことも踏まえながら地域の中で取り組んでいただきたい。</p> <p>中なかいいネ！の中で、多文化共生推進アクションプランとともに、外国人の方々との地域の中での共生を進めていきたい。</p>
<p>資 料 ・ 特記事項</p>	<p>1 資料</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 次第 (2) 座席表 (3) 中なかいいネ！推進会議委員名簿 (4) なか国際交流ラウンジ（資料1） (5) 各地区の日本人と外国人の比率（参考資料1） (6) 第2期横浜市中区多文化共生推進アクションプラン（概要版）（参考資料2） <p>2 特記事項</p> <p>今回は、令和5年2月に開催予定です。詳細については、後日お知らせします。</p>